

『高齢者の営農を支える「らくらく農法」』

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター
戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)

コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン 高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発



奈良女子大学・奈良県農業総合センター
三晃精機株式会社・奈良高専

事業の背景

農村の高齢化・コミュニティの10年後問題



農業指導員の発見:

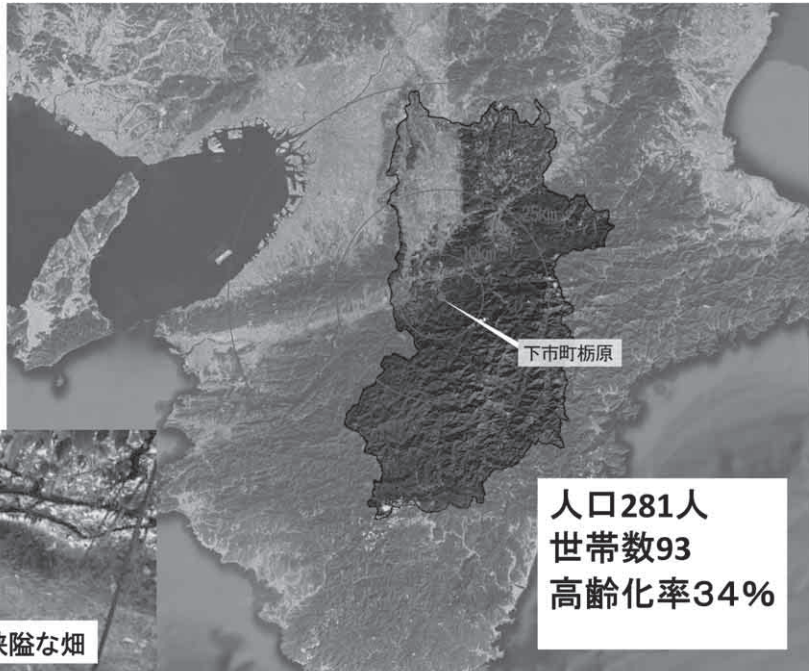
「将来、村に戻って農業をしたい、という人はいる。
しかし彼(女)らの定年帰農まで、親の身体がもたない。」

コミュニティを調査し、
村の高齢農家が少しでも長い間現役を
続けられる手段を提供し、
農村コミュニティを高齢者の生きがい豊
作地帯にすることによって、帰郷者への
pull要因(らくらく・楽しく・仕事有り)を増
やし、農村コミュニティの持続可能性を高
める。



奈良女子大学 文学部人文社会学科 准教授 **寺岡 伸悟** てらおか しんご

下市町栢原地区について



急峻で狭隘な畑

人口281人
世帯数93
高齢化率34%

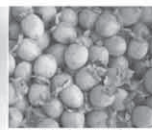
らくらく栽培グループ



柿のらくらく栽培

らくらく栽培実証畑

柿の葉寿司、つまもの、クラフト、生け花などで応用



柿渋用果実



女性でもらくらく持てる軽量育苗



柿の里奈良の柿もみじ

他にも様々な特産物を発掘！



シソ



ミヨウガ



サンショ



ウメ

『高齢者の営農を支える「らくらく農法」の開発』

電動運搬車グループ



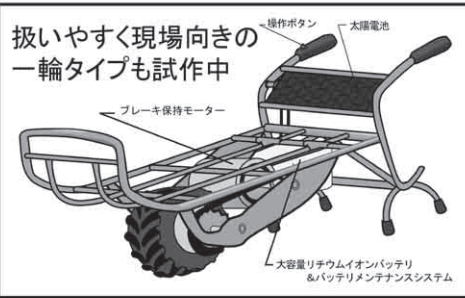
三晃精機(株)試作電動運搬車 Li-200



お年寄りや女性にも
安心・安全操作



ガソリンエンジン車(後)よりコンパクト



PPK-歩行能力測定指導グループ

○農作業強度測定

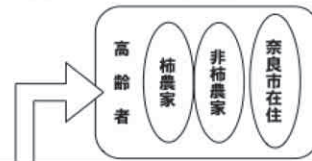
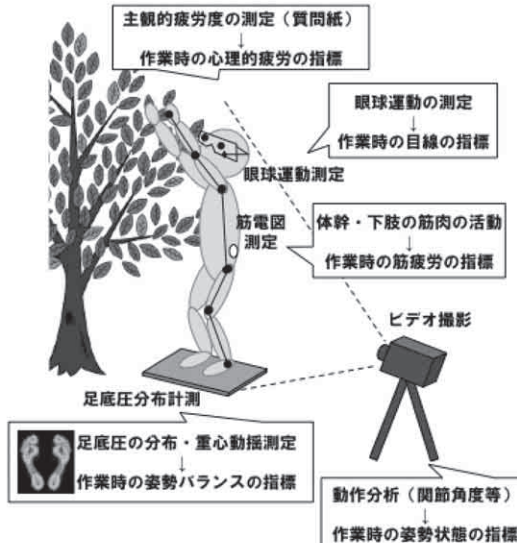
→らくらく栽培グループとの連携

- ※作業時の心理的疲労と身体的疲労の客観的把握
- ※らくらく栽培導入前後での比較

○高齢者体力情報

→高齢者サポート機器改良グループとの連携

- ※農作業高齢者の体力特性の把握（非農作業者と比較）
- ※サポート機器開発・改良のための体力情報の提供
- ※体力情報をもとにした歩行指導



「暮らしぶり」の調査を実施

- ①日常生活調査・・・活動量計、質問紙、インタビュー
- ②体力測定・・・主に下肢筋力、歩行能力の測定
例) 歩く動作の個性性を重視した「6分間歩行」測定時の様子



- ③「靴」の調査・・・日常、農作業時に着用している靴

寺岡 伸悟

熊本大学文学部専任講師、甲南女子大学人間科学部助教授(社会学)などを経て、2005年から国立大学法人奈良女子大学文学部准教授。京都大学博士(文学)。

専門は地域社会学・文化社会学。農山村を主たるフィールドに、地域社会文化の発掘やその資源化、さらにそれらを用いた産業振興・地域づくりのための調査・研究を行っている。そのため食と農、地域と情報化(メディア)、さらに観光学の分野にも関心を広げている。

